

山岳部 1年間の成長を感じる 塩谷丸山～天狗山縦走 (10月20日(日))

岩東山岳部はほぼ毎年4月下旬の最初の山行を塩谷丸山でスタートさせています。秋にもう一度塩谷丸山に登り、さらに小樽天狗山までの長い道のりを歩くことで1年間の自分の成長を実感する山行が、5年ぶりに実現。初登山で苦労した1年生も、この1年間経験を積みすっかり頼もしくなりました。空気が澄んでいて塩谷丸山から見る小樽や余市の海岸線の風景はとても鮮やかで、遠くの山々もよく見えました。1度大きく下り多少登り返しがあるものの、全体的には落ち葉が絨毯のように敷き詰められた尾根沿いの長い道のりをひたすら歩きます。途中、遠藤山や於古弁山で山頂写真を撮り、14時頃に小樽天狗山に到着。ロープウェイ駅の展望台から小樽の街を一望。途中までスキー場コースを下り、途中から地蔵コースへ。小さな地蔵を見ながら下った先に色鮮やかな仏像が突然出現。この仏像群を確認して縦走山行は終了を迎えます。駐車場で反省会の後塩谷駅で車を回収し、手宮湯ノ花へ移動。冷えた身体を入浴して温め、満足感を胸に岩見沢駅へと戻ってきました。



塩谷駅から出発



すっかり秋模様



もう雪がありました



塩谷丸山山頂



長い縦走コースが始まります



落ち葉の絨毯の上を歩く



小樽天狗山山頂